

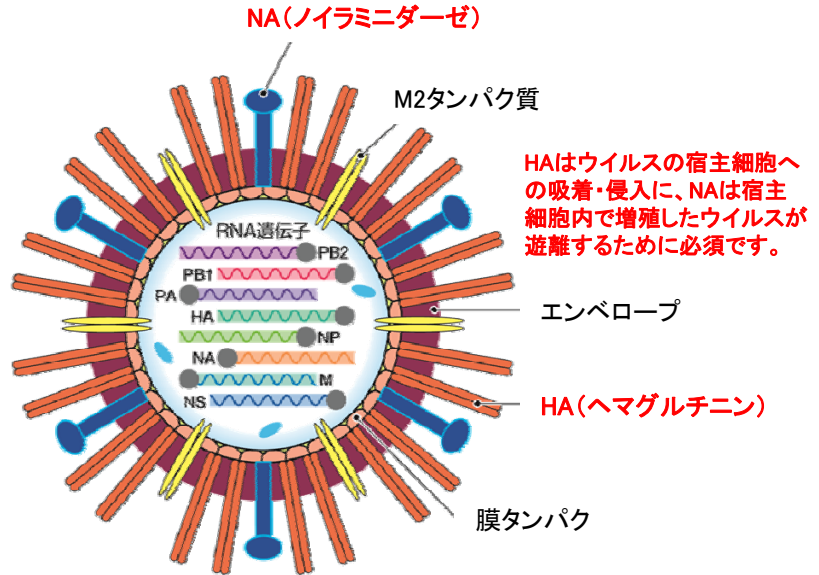
インフルエンザ情報

インフルエンザとは

インフルエンザウイルスの構造 1-4)

インフルエンザウイルスはウイルス粒子内の核蛋白複合体の抗原性の違いから、A・B・Cの3型に分けられ、このうち流行的な広がりを見せるのはA型とB型です。A型ウイルス粒子表面にはHA(ヘマグルチニン)とNA(ノイラミニダーゼ)という糖蛋白があり、HAには16の亜型が、NAには9の亜型があります※。この亜型が様々な組み合わせでヒト以外のその他宿主(ブタ、トリなど)にも広く分布しているため、A型インフルエンザウイルスは人獣共通感染症としてとらえられます。

※近年、コウモリから新たに2種の亜型(H17N10, H18N11)が発見されましたが、人間への感染の可能性は低いとされています。



A型インフルエンザウイルスの構造

インフルエンザウイルスに繰り返し感染する理由は、HAとNAが同一の亜型内で抗原性を毎年のように変化させ(小変異)、巧みにヒトの免疫機構から逃れるためです。さらにA型は、数年から数十年単位で突然別の亜型に取って代わることがあり(大変異)、これが「新型インフルエンザウイルス」と呼ばれるものです。人々は新たに出現したインフルエンザウイルスに対する抗体はないため、感染は世界規模で拡大し、大流行(パンデミック)となります。

インフルエンザの特徴 5,6)

感染経路	飛沫感染、接触感染
国内流行時期	例年12月～3月頃 ※1月下旬から2月が流行のピーク
潜伏期間	通常1～3日間
症状	発熱(通常38℃以上)、頭痛、関節痛、筋肉痛、喉の痛み、鼻汁、咳 など
感染力がある期間	発症直前から発症後7日間程度 ※発症直前から発症後3日間程度が感染力が特に強い

参考資料

- 1) 国立感染症研究所. 疾患情報. インフルエンザ総説. <http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>.
- 2) 増田佐和子. インフルエンザウイルス. 日本耳鼻咽喉科学会会報. Vol. 118 No. 7. pp. 904-907. 2015年.
- 3) CDC. Influenza Type A Viruses. <http://www.cdc.gov/flu/avianflu/influenza-a-virus-subtypes.htm>.
- 4) CDC. Bat Influenza (Flu). <http://www.cdc.gov/flu/about/viruses/bat-flu.htm>.
- 5) 厚生労働省. インフルエンザQ&A. <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>.
- 6) 厚生労働省他. インフルエンザ施設内感染予防の手引き. 2013年11月改訂.
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/tebiki25.pdf>.

2015年12月発行
 サラヤ株式会社 学術部 (受付 平日9:00～18:00)
 TEL:06-4706-3938 FAX:06-6209-0242
 E-mail: gakuju@saraya.com